

『月に吠える』刊行100年
 第45回 朔太郎忌

どこが
マバイの?
 朔太郎

べろべろ
 酒精中毒者

びらびら

愛憐

すえたる菊



第1部 シンポジウム

作家・評論家
高橋源一郎

歌人
穂村弘

詩人・作家・フランス文学者
松浦寿輝

第2部 リーディングシアター

長谷川初範
 (朔太郎役)

林健樹
 (屏星役)

萩原朔美
 (白秋役)

柳沢三千代
 (ナレーション)

『月に吠える』を声で立ち上がらせる

発禁処分

『月に吠える』とは何だったのか——日本の詩歌の百年



『月に吠える』とは何だったのか

日本の詩歌の百年

第1部 シンポジウム



たかはし げんいちろう
高橋源一郎

1951年広島県生まれ。小説家、評論家。明治学院大学国際学部教授。1981年『さようなら、ギャングたち』で第4回群像新人長編小説賞優秀作となり、作家デビュー。1988年『優雅で感傷的な日本野球』で第1回三島由紀夫賞受賞。2002年『日本文学盛衰史』で第13回伊藤整文学賞受賞。2012年『さよならクリストファー・ロビン』で第48回谷崎潤一郎賞受賞。その他主要著書に『官能小説家』『いつかソウル・トレインに乗る日まで』『競馬探偵の憂鬱な月曜日』『ぼくらの民主主義なんだぜ』など。すばる文学賞、群像新入文学賞、野間文芸賞、中原中也賞選考委員。2005年から2014年まで、萩原朔太郎賞選考委員。



ほむら ひろし
穂村弘

1962年北海道生まれ。歌人。1990年に歌集『シンジケート』でデビュー。短歌にとどまることなく、エッセイや評論まで広く活躍中。若い世代を中心に絶大な支持を受けている。歌集に『手紙魔まみ、夏の引越し(ウサギ連れ)』『ラインマーカース』、エッセイ集に『世界音痴』によっ記『現実入門』『もしもし、運命の人ですか。』『野良猫を尊敬した日』など。2008年『短歌の友人』で第19回伊藤整文学賞、『楽しい一日』で第44回短歌研究賞、石井陽子とのコラボレーション『火よ、さわれるの』でアルス・エレクトロニカ・インタラクティブアート部門栄誉賞受賞。2013年絵本『あかにんじゃ』で第4回ようちえん絵本大賞特別賞受賞。日経新聞歌壇選者。



まつうら ひさき
松浦寿輝

1954年東京都生まれ。詩人、作家。東京大学名誉教授(フランス文学・表象文化論)。1982年第一詩集『ウサギのダンス』を刊行。1988年詩集『冬の本』で第18回高見順賞。2009年『吃水都市』で第17回萩原朔太郎賞。2014年『afterward』で第5回鮎川信夫賞。小説では、1996年に第一小説集『ものたはむれ』を刊行。2000年『花腐し』で第123回芥川龍之介賞。2005年『半島』で第56回読売文学賞、『あやめ 鯉 ひかがみ』で第9回木山捷平賞。ほかに『巴』『川の光』『不可能』『BB/PP』など。評論では、1995年『エッフェル塔試論』で第5回吉田秀和賞。1996年『折口信夫論』で第9回三島由紀夫賞。2000年『知の庭園——一九世紀パリの空間装置』で第50回芸術選奨文部大臣賞。2015年『明治の表象空間』で第56回毎日芸術賞特別賞。2011年より萩原朔太郎賞選考委員。2016年12月より萩原朔太郎研究会会長。

は せ が わ は つ の り
長谷川初範
(朔太郎役)



はやし けんじゅ
林 健樹
(犀星役)



はぎわら さ く み
萩原朔美
(白秋役)



やなぎ さ わ み ち よ
柳沢三千代
(ナレーション)



1955年北海道生まれ。俳優、ナレーター。ケイダッシュ所属。1975年今村昌平制作舞台『ええじゃないか』(俳優座劇場)の源次役に抜擢され注目される。1978年『飢餓海峽』(フジテレビ)戸波刑事役でテレビデビュー。1980年『ウルトラマン80』(TBS)で主人公・矢的猛役に初主演。1982年『幻の湖』で映画デビュー。ほかにテレビドラマでは1985年『真田太平記』、1990年『陰翳礼讃』(TBS)、1991年『101回目のプロポーズ』(フジテレビ)、映画では2005年『missing-pages』、舞台では2007年『双頭の鷲』など出演多数。

1957年東京都生まれ。演劇プロデューサーとろんぶ・るいゆ所属。劇団いろは〜劇団青年座四期。乗馬を宇津井健、ジャズダンスを真島茂樹に学ぶ。『科学戦隊ダイナマン』(レギュラー)ほか、東映の特撮番組に多数出演。時代劇『大江戸捜査網』『遠山の金さん』『大岡越前』ほか、土曜ワイド劇場、火曜サスペンス劇場、時代劇スペシャルなど出演多数。2015年11月『この道はいつか来た道』(別役実・作)で演劇活動再開。同年12月『場所と思い出』(別役実・作)主演。2016年『楽屋』(清水邦夫・作)、『イエスタデイ』(清水邦夫・作)、『朗読劇団桃色旋風』(レギュラー)ほか。

1946年11月14日東京都生まれ。映像作家、エッセイスト。多摩美術大学名誉教授。母は小説家萩原葉子、母方の祖父は萩原朔太郎。1969年寺山修司主宰の演劇実験室「天井桟敷」の立ち上げに参加、演出家として活躍。1975年月刊誌「ビククリハウス」をバルコ出版より創刊し、初代編集長を務める。著書に『演劇実験室・天井桟敷の人々』(2000年)、『毎日が冒険』(2002年)、『死んだら何を書いてもいいわ』(2008年)、『劇的な人生こそ真実』(2010年)ほか多数。2016年4月より前橋文学館館長。

大阪府生まれ。声優・ナレーター。青二プロダクション所属。在学中に如月小春主宰の劇団「NOISE」に旗揚げより参加、座長の進言で声優の道へ。アニメでは『それいけ!アンパンマン』カレーパンマン役、『機動戦士ガンダムSEED』エリカ・シモンズ役、上田トシコ原作『フィチンさん』フィチン役、ちばてつや原作『風のように』語りほか。テレビでは『歴史発見 城下町へ行こう!』(BS朝日)、『名作を旅してみれば』(BSフジ)ほか多数。朗読ユニット「はんなりラヂオ」主宰、『WAKU』プロデュースで舞台の活動も続けている。

第2部 リーディングシアター
『月に吠える』を声で立ち上がらせる

〈会場〉 前橋テルサ

〒371-0022 前橋市千代田町2丁目5-1
■JR前橋駅からタクシーまたはバスにて約5分、徒歩約20分